

サワラの巨木

神が宿る木

このサワラの樹齢は約 300 年です。5.5m という幹の周囲と、41m の高さを誇っており、そのサイズも樹齢と同等に感動的です。サワラは非常に腐りにくいため、壁張り材や浴槽に最適な木材です。木曽の森林当局の計算によると、このサワラの木から 300 個の浴槽を作るのに十分な木材がとれるということです！

幹の地面から 2 メートルほどのところの両側から上に向かって曲がって伸びている腕のような枝が見えますか？このような木は、神居木、つまり神様の宿る木として知られています。昔は、神様が神居木に腰掛けることを好むのだと考えられていました。ここで言う神様とは、半分が人間で半分が鳥という、いずれも気まぐれでいたずら好きな性質を持つ 山の神、天狗でした。木こりは従来このような木が災難をもたらすと考えていたため、近づきませんでした。この木は、上に向かって伸びる枝が両側から生えている両神居木なので、特に敬意を持って扱う必要があります。